

(様式1)

平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 083	提案機関名 かながわ西湘農業協同組合
要望問題名 稲藁の早期完熟化の対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 近年は、コンバインの普及により収穫後の稲藁をキザム農家がおおくなり、翌年まで腐らず残りの田植え農作業の効率低下、水稻苗の生育に影響すると思われまますので、対策の検討を願いたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	野菜作物研究部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 コンバイン収穫後の稲わらについては水田の状況に応じ、石灰窒素を併用するなどして秋期に鍍込むことで分解は進みます。鍍込みの時期が遅れて分解が十分でない場合には水稻の生育等に影響する場合があります、これを技術的に回避することは一般には困難ですので適切な対応をお願いいたします。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			